

造水技術シンポジウム2011開催要領

＜膜ファウリングの診断・予防・対策の新展開＞

主 催 一般財団法人造水促進センター

後援(予定)：経済産業省、社団法人日本工業用水協会、特定非営利活動法人日本オゾン協会、日本脱塩協会、日本液体清澄化技術工業会、一般社団法人膜分離技術振興協会、日本膜学会、日本水道新聞社、水道産業新聞社

◇日 時 平成23年9月2日(金) 9:50～16:50

◇会 場 「発明会館ホール」住所：〒105-0001 東京都港区虎ノ門2丁目9番14号
電話：03-3502-5499

◇会 費 一般：12,000円(テキスト代、消費税込)
会員：10,000円(テキスト代、消費税込)

◇プログラム

- | | | |
|-------------|------------------------------------|--|
| 9:50～10:00 | あ い さ つ | 一般財団法人 造水促進センター
常務理事 秋 谷 鷹 二 |
| | 〃 | 経済産業省経済産業政策局
産業施設課長 斉 藤 群 |
| 10:00～11:00 | 「膜ファウリングの現状と展望」 | 神戸大学大学院工学研究科応用化学専攻教授
先端膜工学センター長 松 山 秀 人 |
| 11:00～11:30 | 「浄水処理におけるファウリングポテンシャルの提案とその発現特性」 | 水ing株式会社技術開発統括技術開発室第二グループ
貝 谷 吉 英 |
| 11:30～12:00 | 「ROエレメントの低差圧運転を実現する(LDテクノロジー)製品展開」 | 日東電工株式会社メンブレン事業部 開発部長
廣 瀬 雅 彦 |
| 13:00～14:00 | 「膜濾過におけるファウリング機構の解明」 | 名古屋大学大学院工学研究科化学・生物工学専攻教授
入 谷 英 司 |
| 14:00～14:30 | 「膜供給水の新しい水質評価法について」 | 古市技術士事務所 古 市 光 春 |
| 14:30～15:00 | 「MBRにおけるバイオフィアウリングの解析」 | 株式会社神鋼環境ソリューション商品市場・技術開発センター
水・汚泥技術開発部 水処理室課長 石 山 明 |
| 15:10～16:10 | 「ファウリングに対する界面制御の効果と温度応答性膜の開発」 | 神奈川工科大学応用バイオ科学部准教授
市 村 重 俊 |
| 16:20～16:50 | 「質疑応答」 | 講演者全員 |